



DTX Studio™ Lab

DTX Studio Lab™ 1.12
Connecting treatments from beginning to end

[Version 1.12 Launch information](#)



Timeline

Lab

DTX Studio™ Lab Ver,1.12

- Launch : 2021年11月3日 (水)
- ソフトウェアダウンロード方法
DTX Studio™ Goからダウンロード
 - DTXStudioLab(x64)_1.12.3.1.exe (Win)
 - DTXStudioLabExtraToothLibrary_1.1.1.exe (Win)
 - DTXStudioLabImplantLibrary_2.1.3.exe (Win)
- 関連資料
専用サイトからダウンロード (<http://www.nbj-pts.biz/DTX-Lab/>)
 - DTX Studio Lab Version 1.12 Launch information MK479
 - 【What's new】 DTX Studio Lab Version 1.12 MK480
 - Computer Guideline_DTX Studio Lab_V1.12.3.1_JP_MK481

Launch Schedule



Documents

- ユーザー・マニュアル
専用サイトからダウンロード (<http://www.nbj-pts.biz/DTX-Lab/>)

Installation guide

- For KAVO LS3 Scanner Setting_DTX Studio Lab_V1.12.3.1
- For version upgrade_DTX Studio Lab_V1.12.3.1

Lab

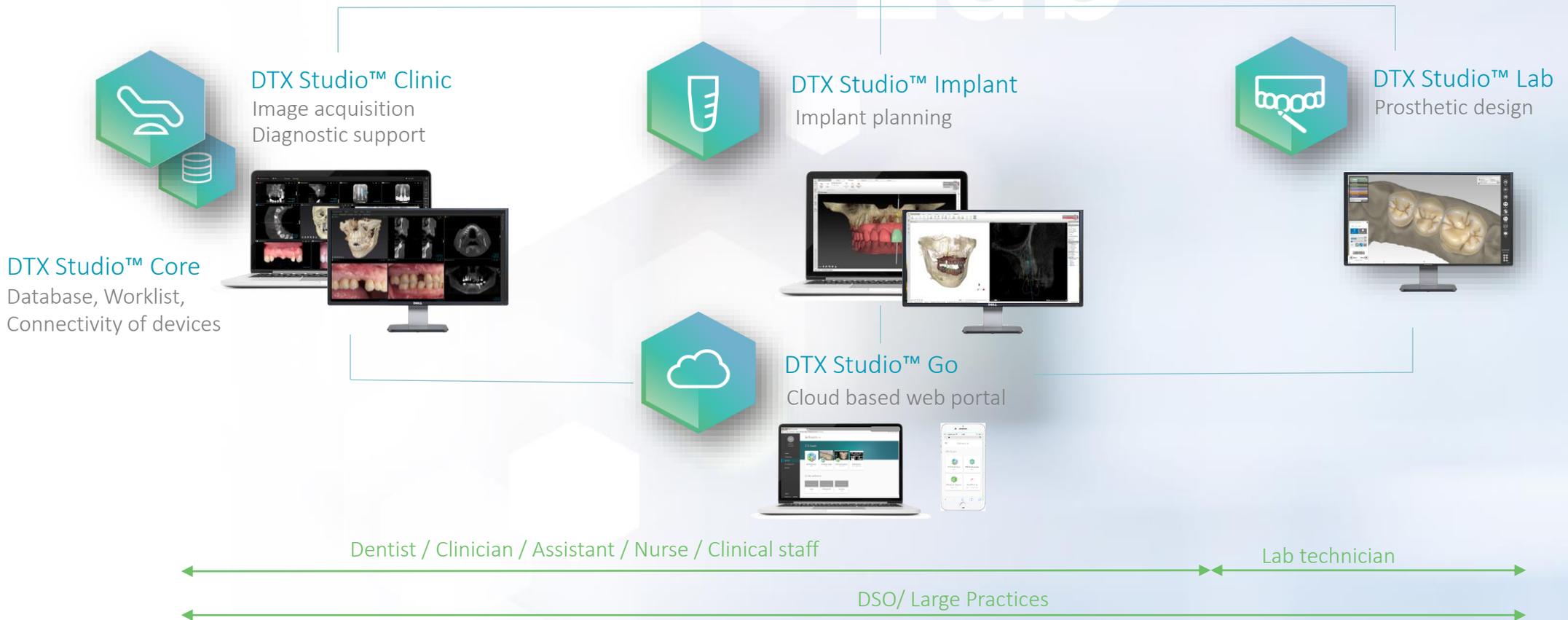
関連マニュアル

- DTX Studio Go Manual_V2.24.2_JP_MK478
- DTX Studio™ suite_MK461A





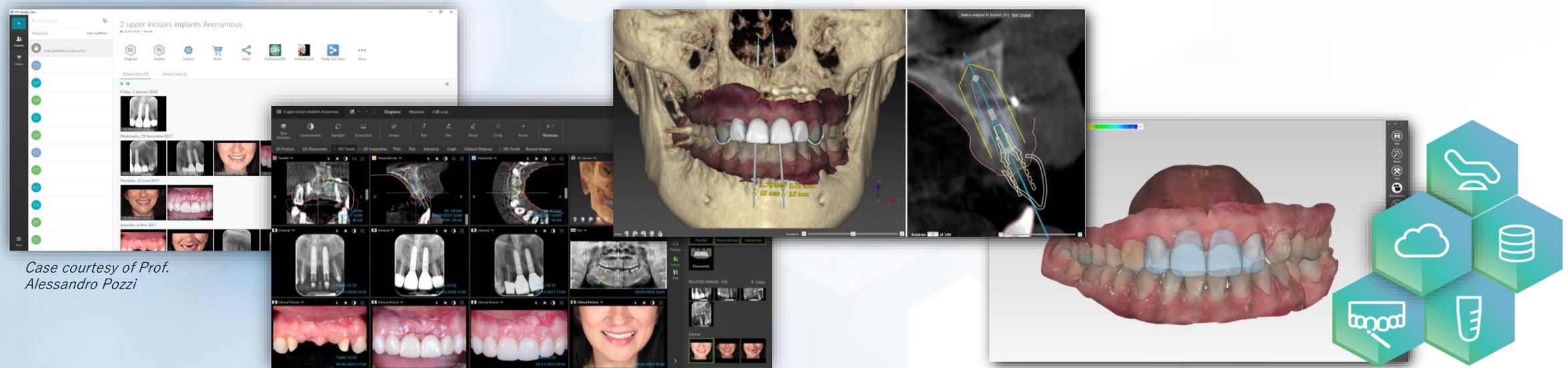
5 key components



Power of DTX Studio™ Suite



1. 診断、治療計画から患者のフォローアップまでDTX同士をつなげる
2. 患者主導 = 患者の病状を追跡できる1つの患者フォルダ (DTX Studio™ Clinic)
3. 治療パートナー(チーム)間で患者デジタルデータをシームレスに共有するワークフロー



Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi



Lab

DTX Studio™ Lab 1.12
What's New

What's new in DTX Studio™ Lab 1.12



Compared to previous versions

Information for Oct 2021

Lab

新製品へより簡単なアクセス

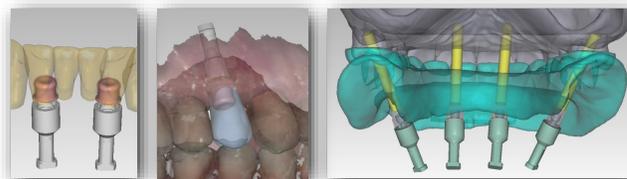
ソフトウェアヘインプラントライブラリだけを更新することで、新製品情報が追加できます。

DTX Studio 治療チームとのコラボレーション – DTX Studio suite

ビジネスを推進し、治療チームのコラボレーションを強化することができます。

i. 最終補綴装置により近い治療イメージの追加：

NobelBiocare On1、またはMulti-unit-Abutmen上のTempShell（即時暫間補綴装置）または、LabDesignリクエストを受信し、より具体的な最終補綴イメージを治療計画に取り入れます。



ii. フルアーチ・イミディエート・プロビジョナル：

DTXStudio™インプラントパートナーからLabDesignリクエストを受け取り、テンポラリーアパットメントでフルアーチの即時プロビジョナルを設計・製造。



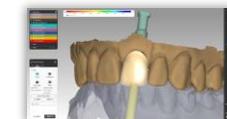
改善

ケースのアーカイブ解除機能の効率向上させました。

新しい exocad “Galway” バージョンをサポート 修復的デザインを次のレベルに引き上げます

新しい UI デザイン

exocadゴールウェイバージョンを採用した新しい設計モジュール。設計時に新しい直感的なユーザーインターフェイスを利用できます。



新しい デザインツール

i. 自動モーフィング：

設計時の歯の解剖学的構造のリアルタイム調整ワークフローの高速化が図られます。



ii. 新しいブリッジコネクタ編集ツール：

分割画面ビューとツールを使用して、複数のコネクタを一度に変更し、ワークフローを高速化します。



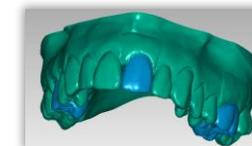
Model Creator

i. 新しいデジタルワックスアップモデル：

モデル上に理想的な歯のセットアップを作成し、3Dプリントして患者とのコミュニケーションに使用します。

ii. 新しいプレートレスモデルの設計：

- 取り外し可能な支台歯モデル。
- 製造が容易となる、平底モデル。



iii. 暫間モデル：

仮想的に準備されたモデルのデザインと印刷ができます。

iv. モデルアナログのオフセット機能：

v. 複数のモデルアナログブランドをサポート：



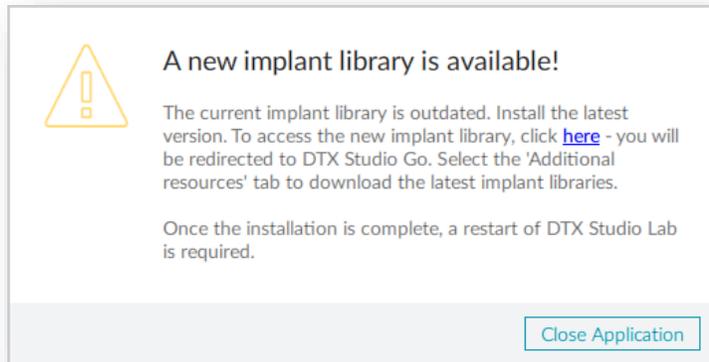
Lab

Product updates



Feature:

毎回新しいDTXStudio™Labソフトウェアのインストーラーをダウンロードすることなく、インプラントライブラリのアップデートを通じ、新製品へのアクセスを迅速に実行します。



Benefit :

幅広いポートフォリオ製品へのクイックアクセス

- DTX Studio Lab ソフトウェアのインストーラーと、カタログファイルがそれぞれのインストーラーとして独立
- 製品アップデートへのクイックな対応が可能となりました。

柔軟性と使いやすさをもたらす
DTX StudioLabの新しいインストールセットアップ

すべてのインストーラーはDTX Studio™ Goから
ダウンロード可能です



DTX Studio™ Lab software

DTX Studio™ Lab
• コックピットと設計モジュール
exocad DentalCAD Galway



DTXStudioLab(x64)_1.12.2.2.exe

必須インストール

DTX Studio™ Lab Implant Library

プロダクト カタログ
• ノーベルプロセラ
• インラボプロダクト



DTXStudioLabIm
plantLibrary_2.0.6
.exe

必須インストール

DTX Studio™ Lab Extra Tooth Library

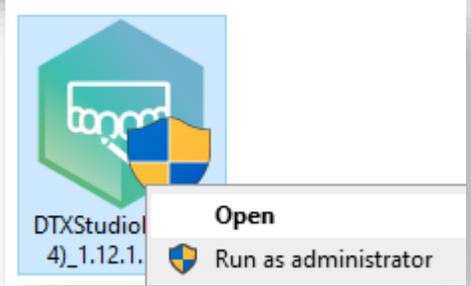
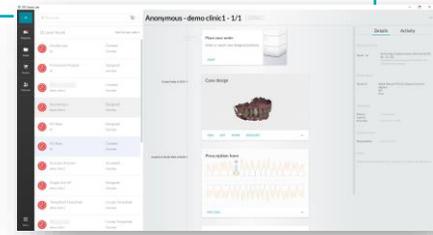
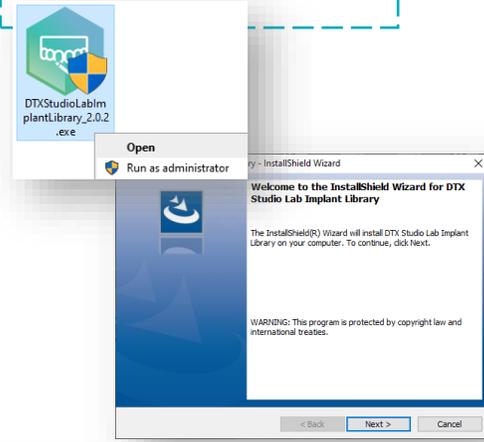
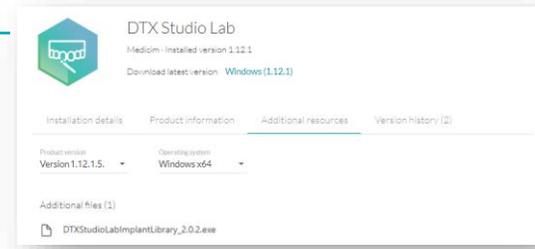
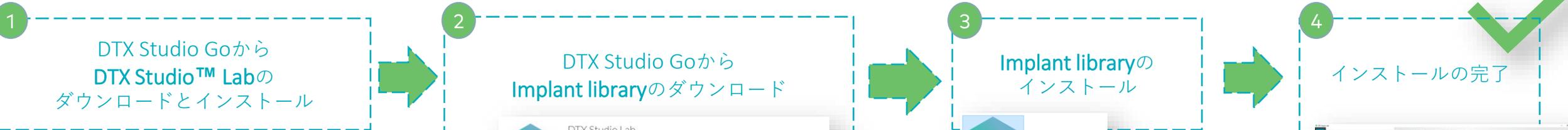
トゥースライブラリの追加



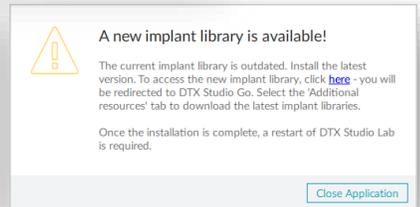
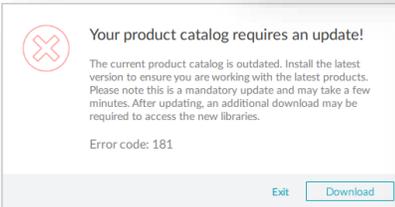
DTXStudioLabExt
raToothLibrary_1.
1.1.exe

オプションインストール

Product updates: Scenario 2 - Existing user installation



インプラントライブラリをダウンロードせずにSWを開こうとした場合
【インプラントライブラリがありません】
警告が表示されます！





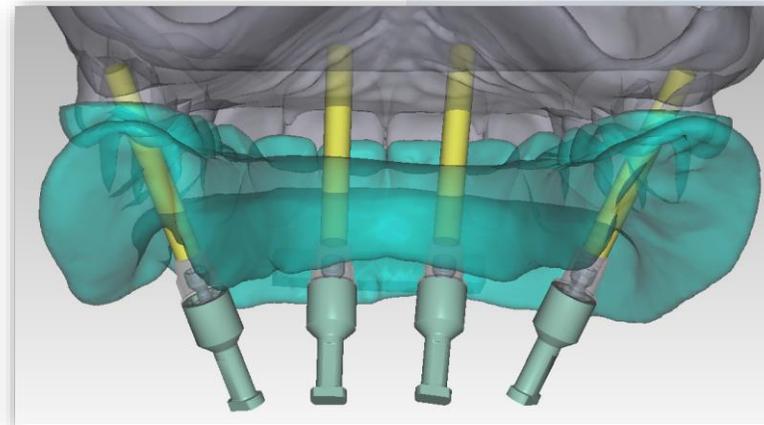
Lab

DTX Studio™ Ecosystem



Feature:

アバットメントレベルでLabDesignリクエストを受け取ることができます。



Benefit :

- ビジネスチャンスの拡大：部分的小および、フルアーチケースにおいて、アバットメントレベルでのラボデザイン(インプラント補綴計画)が可能となりました。
- 効率：インプラント計画後、最終補綴装置の設計をDTX Studio™ラボのパートナーと共有または、オーダーを行なう事も可能です。
- DTXStudio™インプラントで計画したMUA / On1上に、インプラント計画に基づいた補綴装置を設計します。

Tighter integration with DTX Studio™ Implant



Update! : LabDesignワークフローを使用して何が可能か

Nobel Biocare					
Platform	In-lab Production		NobelProcera® Production		
	Crown on base	Bridge on base	Abutments, Implant Crowns incl ASC	Implant Bridges incl ASC	Implant Bars
Conical Connection	Yes	Yes	Yes	Yes	No
External Hex	Yes	Yes	Yes	Yes	No
Internal Tri-channel	Yes	Yes	Yes	Yes	No
On1	New: Yes	New: Yes	-	-	-
MUA	No	New: Yes	-	New: Yes	No

LabDesign DOES NOT support

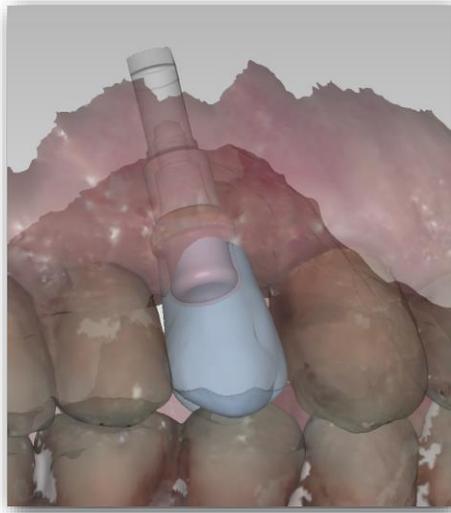
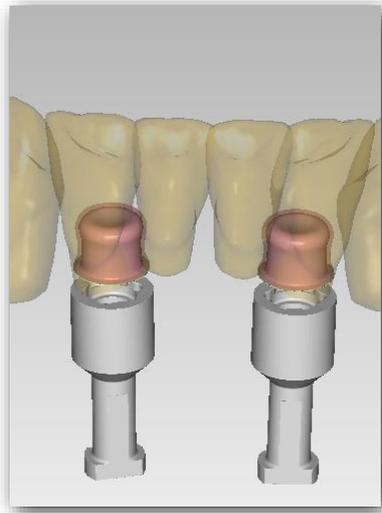
1. Cemented Crowns
2. Cemented Bridges

TempShell requests on Multi Unit Abutments / On1 Concept



Feature:

マルチユニットアバットメント および On1上に、TempShell リクエストを設計および生成します。



Benefit :

- ビジネスチャンスの拡大：スクリュー固定による即時暫間補綴装置を提供します。

DTXStudio™Implantを使用した、
コラボレーションワークフローの拡張

Lab



Lab

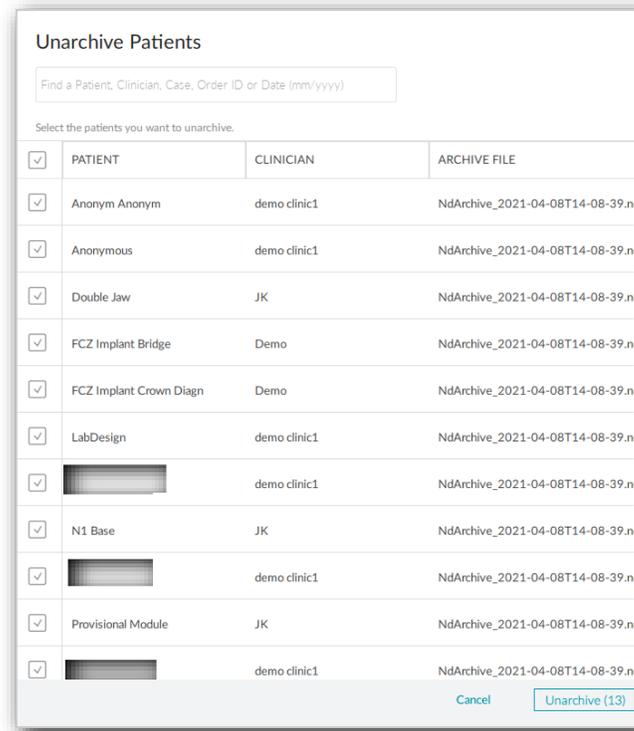
Usability improvements

Usability improvements



Feature:

- アーカイブ解除の改善 : 注文IDまたは日付でデータを検索できるようになりました
- 注文前のケースの複製 : 設計された製品を注文する前にケースの複製が可能です



Benefit :

- 時間効率と使いやすさの改善



Lab

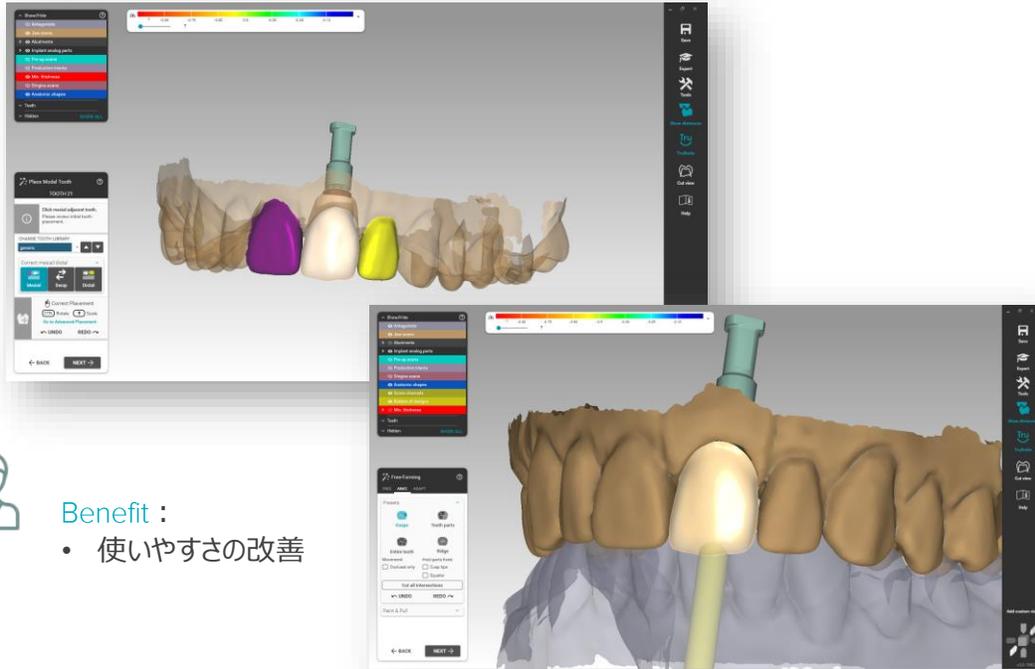
Design module updated

New UI interface in Design module



Feature:

- exocadゴールウェイバージョンを採用した、DTX Studio Labの新しい設計モジュール



Benefit :

- 使いやすさの改善

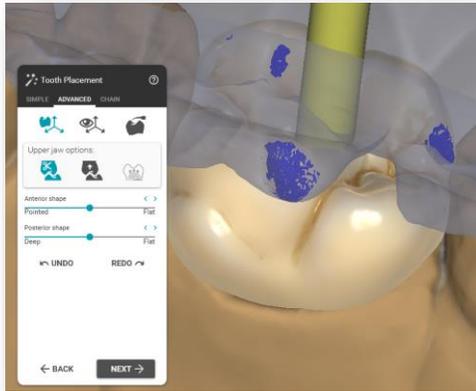


Instant Automatic Morphing



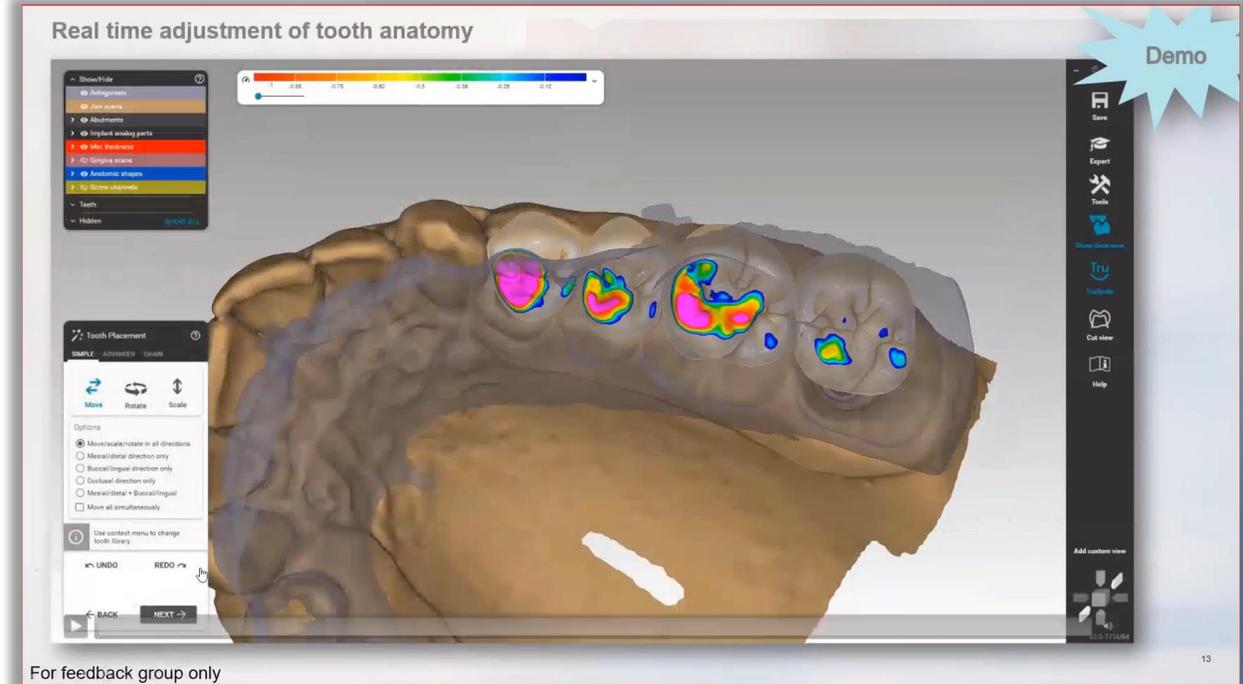
Feature:

- 設計時の歯の解剖学的構造をリアルタイムで調整します。
- さまざまなオプションを選択しつつ、設計する歯牙形態は、対合歯へ自動的に調整していきます。
- 交差点の切断または最小厚さを考慮し、動的な接触関係を調整します。



Benefit :

- 設計ワークフローのスピードアップと生産性の向上 :
自動提案から個々の設計までの時間が短縮されます

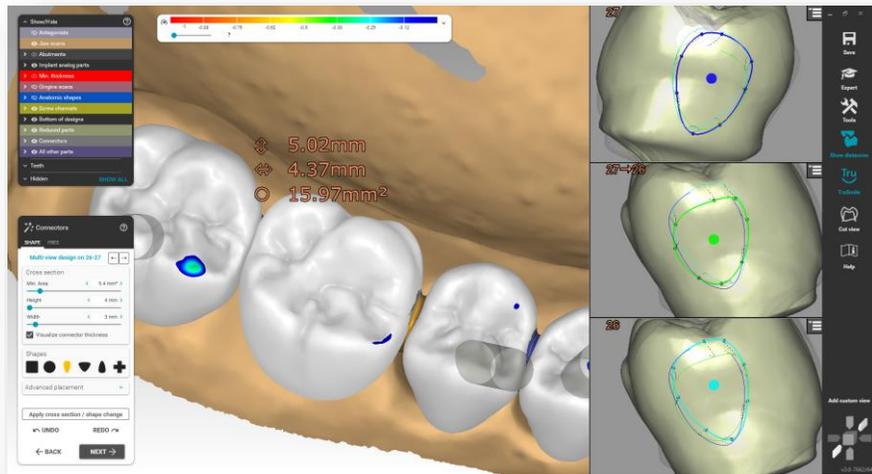


New bridge connector editing tools



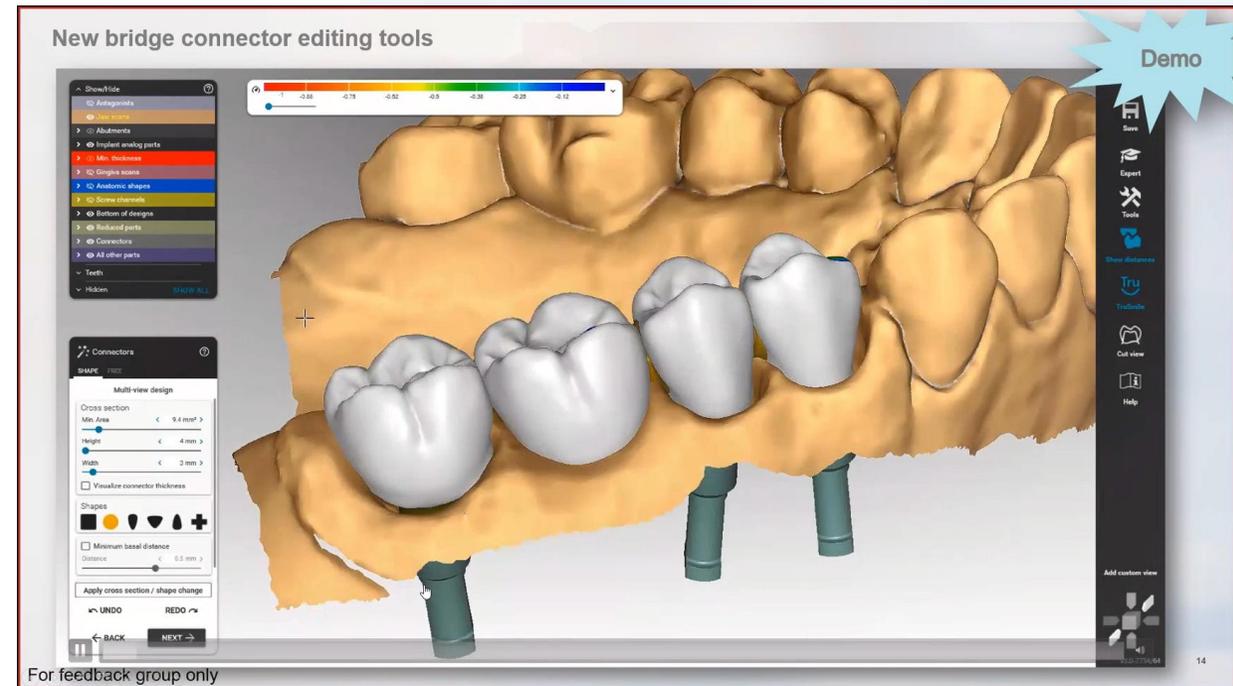
Feature:

- 新しいブリッジコネクタ編集ツール複数のコネクタを一度に変更するためのツールが含まれた分割画面ビュー。
- ブリッジコネクタステップで、3つの追加のカットビューをアクティブ化できます。
- 設計済みのコネクタ形状は、他のコネクタにコピーできます。



Benefit :

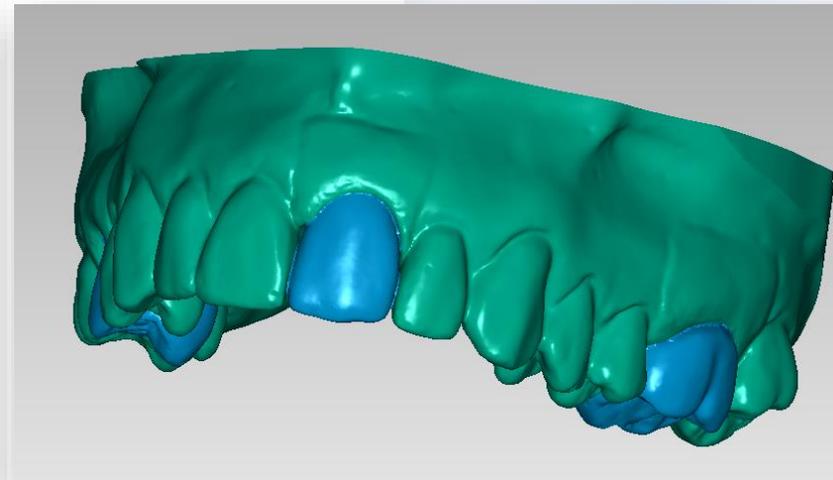
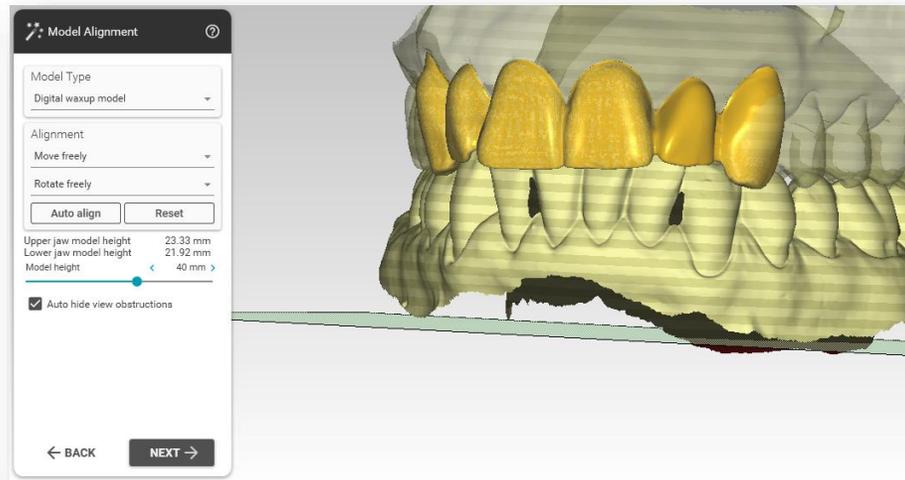
- より高速で制御されたワークフロー





Feature:

- プリント可能な仮想モデル上に理想的な歯牙のセットアップを作成します。
- 新しいモデルプレートタイプ「デジタルワックスアップモデル」上に設計された解剖学的形状や完成デザインのモデル設計を可能にします。



Benefit :

- 患者とのコミュニケーションに有効です

New plateless model designs options



Feature:

- 新しいプレートレスモデル設計のオプション :
- 取り外し可能な支台用の歯肉マスクを設計する機能 : 支台の周りに柔らかい歯肉マスクを描き作成します
- 直感的で汎用性の高い配置ツールで、平面 (側面と底面) を有する歯肉マスクを設計します



Benefit :

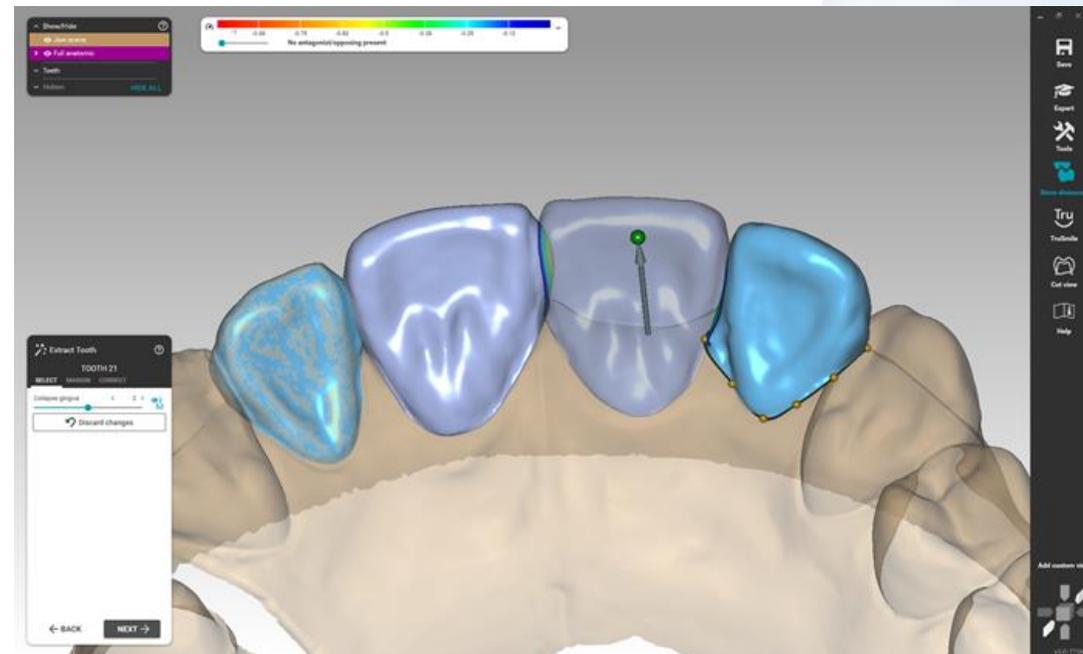
- 軟組織に対するブリッジポンティックの圧力を制御しつつ、審美的デザインをサポートします。
- 3D-プリンターにやさしいワークフロー - モデルの製造が容易となります

Virtual tooth extraction



Feature:

- プロビジョナルモジュールの迅速で簡単な仮想抜歯ツールで、抜歯後の口腔状況をシミュレートします。
 予想される歯肉崩壊の調整が可能であり、抽出された歯は、解剖学的歯冠設計における術前スキャンまたは歯牙のモデルとして使用できます。



Benefit :

- 時間効率と使いやすさの向上

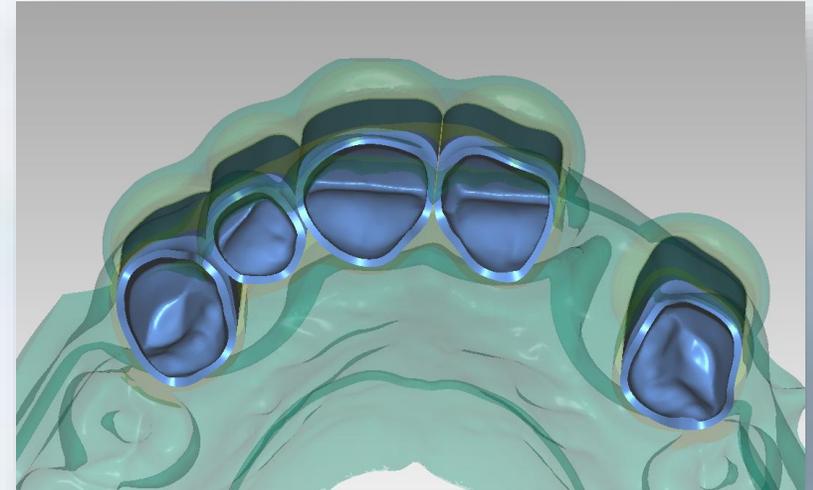
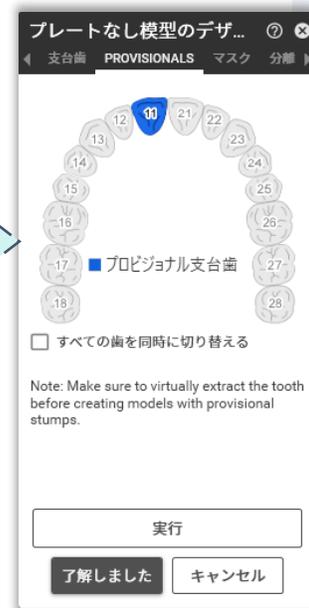
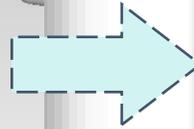
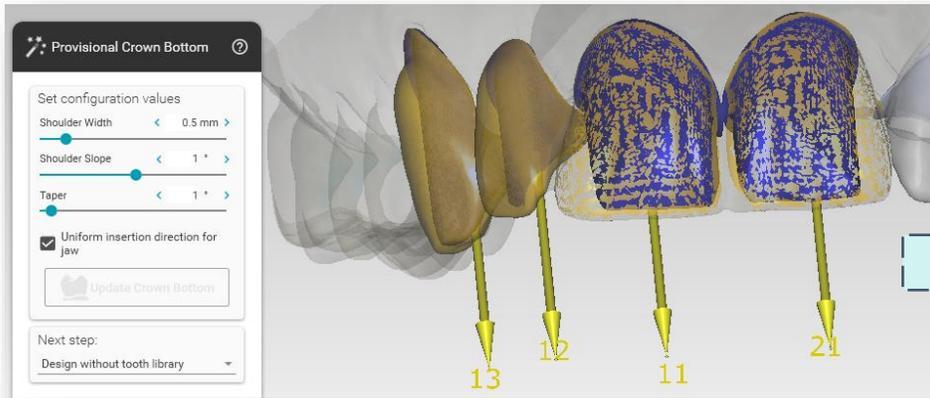
ブリッジケースのみ

Provisional crown stump models



Feature:

仮想の支台に基づいてプロビジョナル・シェルを作成します。
仮想的に形成された支台モデルとプロビジョナルの設計およびモデルプリントができます。



Benefit :

- 臨床医と患者のより緊密なコラボレーション

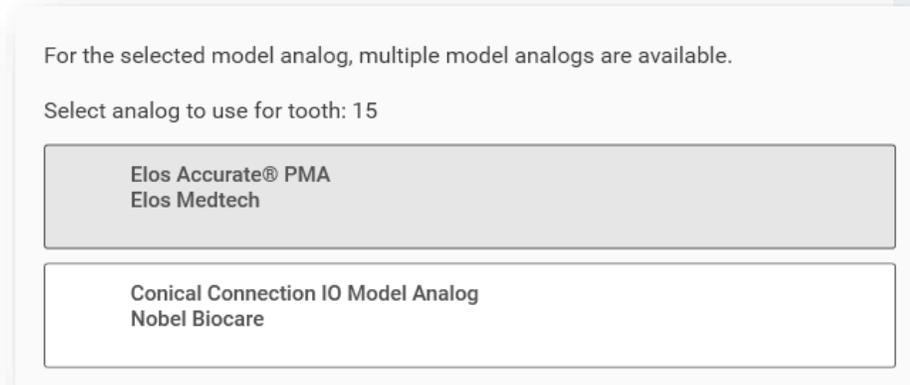
Model Creator improvements



Feature:

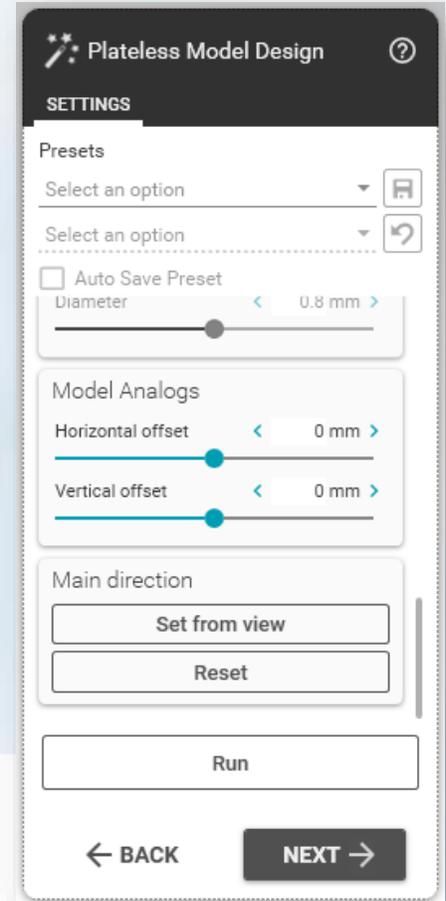
モデルクリエーターの改善が行われました。

モデルアナログのオフセットを変更する機能が追加されました
 モデルのアナログの複数のタイプが選択できます
 例えば コニカルコネクション用のElos PMAまたはNB IOアナログなどの選択



Benefit :

- 使いやすさと、モデルを印刷する際の柔軟性の向上



Model Creator improvements



DTX Studio™ Lab 対応アナログファイル	DTX Studio ラボ 1.10	DTX Studio ラボ 1.11	DTX Studio ラボ 1.12
ノーベル IOS スキャンボディ (ポジションロケーター) ・ CC ・ エクスターナル ・ トライチャンネル ・ MUA	✓	✓	✓
ノーベル IOSインプラントレプリカ ・ CC	✓	✗	✓
エロスメッド モデルアナログ ・ エクスターナル ・ トライチャンネル ・ MUA	✓	✗	✗
エロスメッド プリンティング モデルアナログ ・ CC* ・ エクスターナル ・ トライチャンネル* ・ MUA	✗	✓ CC (Active3.0はMAを使用)* トライチャンネル (6.0mmはMAを使用)*	✓



Model Creator improvements

Lab Analog:

DTX Studio Lab Version 1.12 対応アナログ

External Hex

- Elos Accurate® PMA
(Version 1.11.5 と同様)

Internal Tri-Channel

- Elos Accurate® PMA
(Version 1.11.5 と同様)

Internal Conical Connection

- Elos Accurate® PMA
- IO Model Analog
(選択方式)

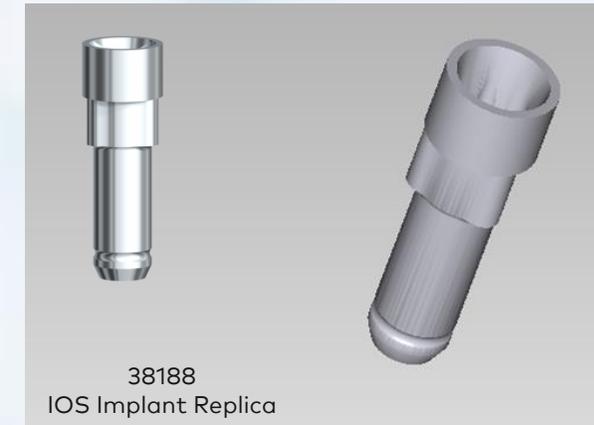
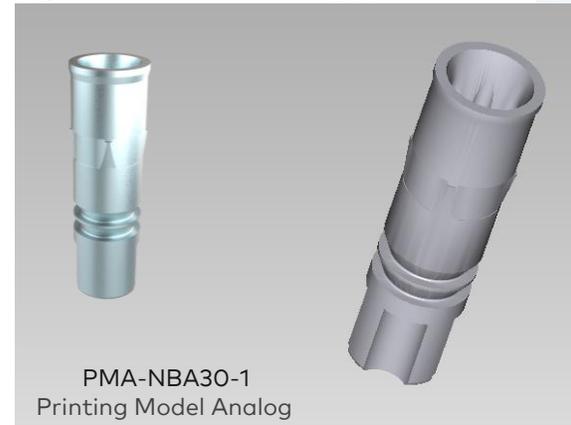
For the selected model analog, multiple model analogs are available.

Select analog to use for tooth: 15

Elos Accurate® PMA
Elos Medtech

Conical Connection IO Model Analog
Nobel Biocare

例) NobelActive3.0の場合





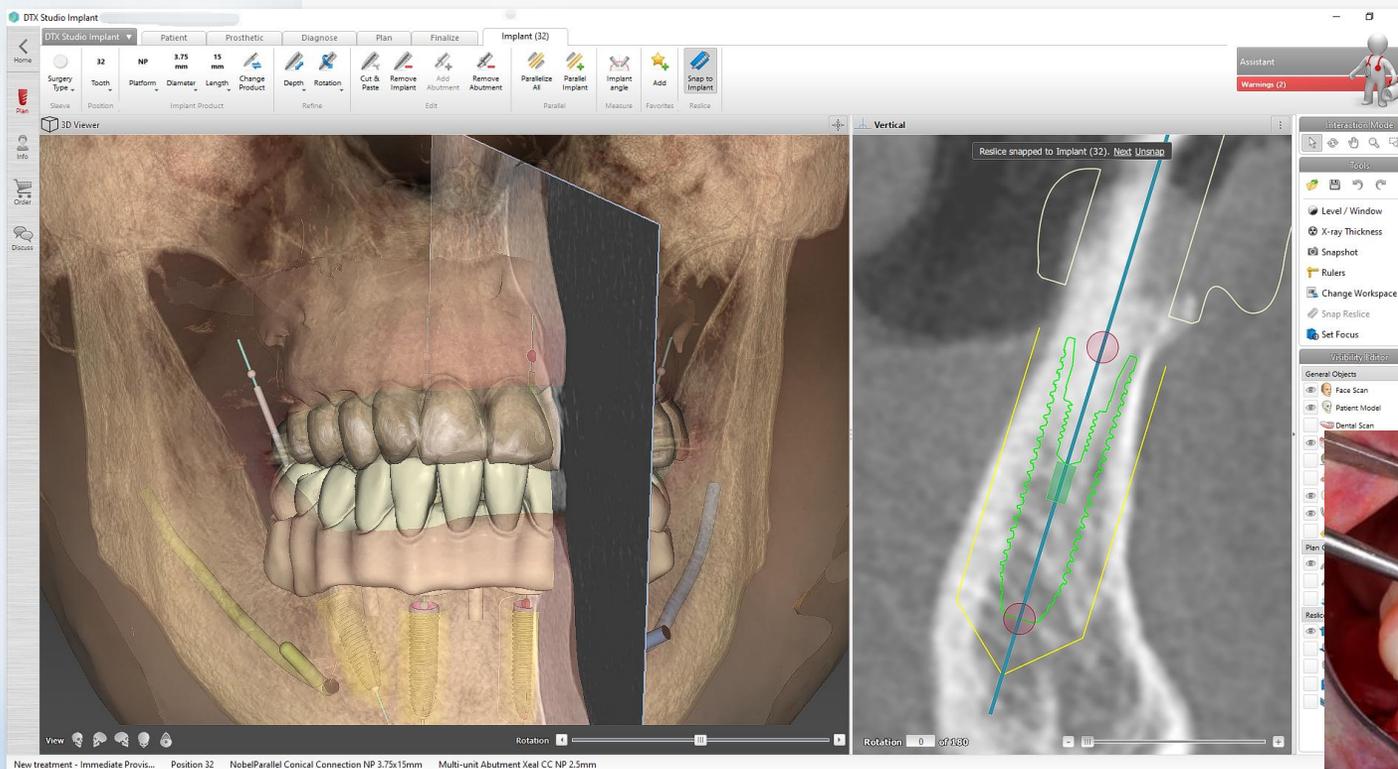
Lab

DTX Studio™ Ecosystem

immediate full arch provisional

DTX Studio™ Ecosystem

Digital workflow for an immediate full arch provisional

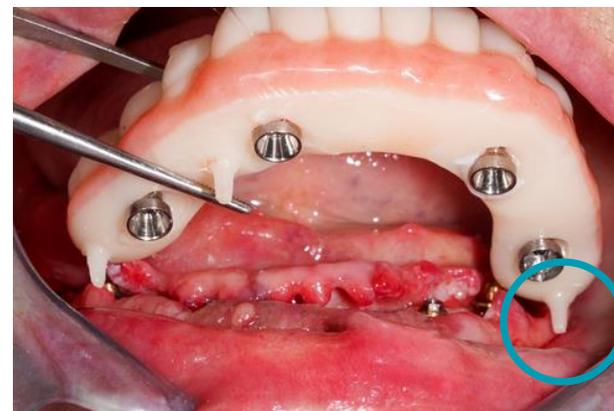
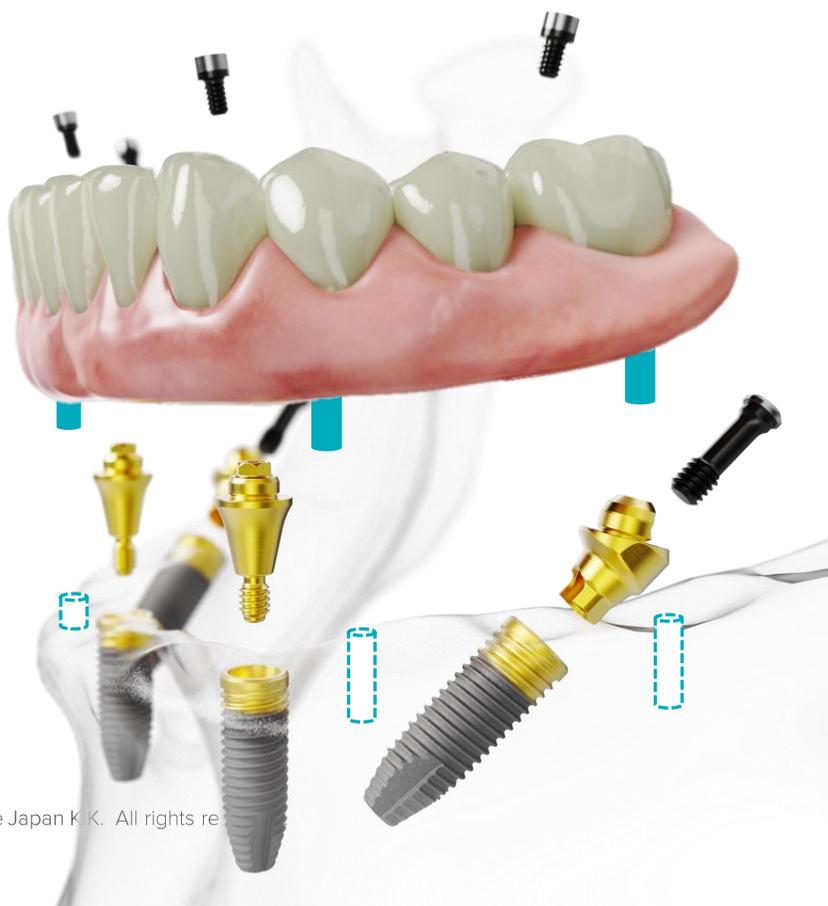


DTX Studio™ Labパートナーにリクエストする事で、手術前にテンポラリーアバットメント上でフルアーチ即時プロビジョナルの製作が可能に。



Lab

テンポラリーアバットメントの即時暫間フルブリッジのデジタルワークフロー



Stump

Stump (TempShellウイングのように機能) : 取り込まれたテンポラリー・アバットメントの硬化中に、ブリッジが口腔内の正しい咬合高径位置に配置されるために使用されます

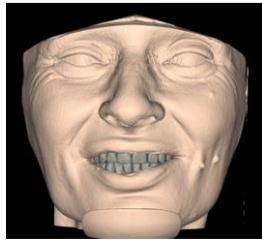
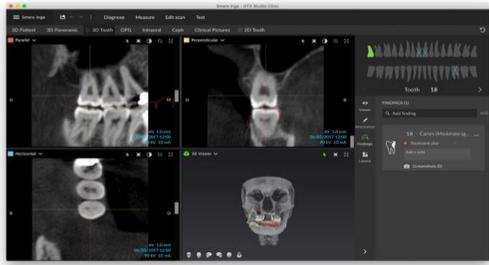
Stumpによって、ブリッジを垂直的な位置に保持されるように、3~4個のパイロットホール形成(ドリリング)を行う必要があります。

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



1. Diagnose (using DTX Studio Clinic*)

Comprehensive clinical and digital examination incl. CBCT scan * 日本未発表



SmartFusion

SmartSet-up

OR

Diagnostic wax-up:
Use IOS /desktop scanner
and scan diagnostic wax-up



Full arch immediate provisional Demo

10/10/2010 • Female



Open patient



Implant



Capture



Order



Share



More

DTX Studio Implant

Open existing patient P

Export to new patient Shift+P

- キャプチャとレビュー：
笑顔の患者の口腔内X線、口腔内スキャン、臨床写真、CBCT

- サーフェスの位置合わせ (SmartFusion)
- SmartSetupを使用して、診断用セットアップを作成するか、IOS /デスクトップスキャナーから診断用ワックスアップのスキャンをインポートします

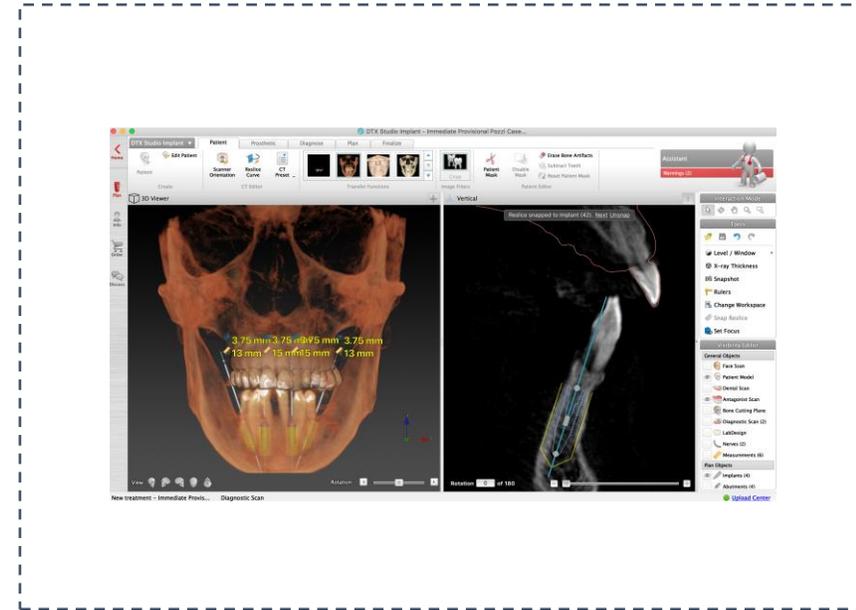
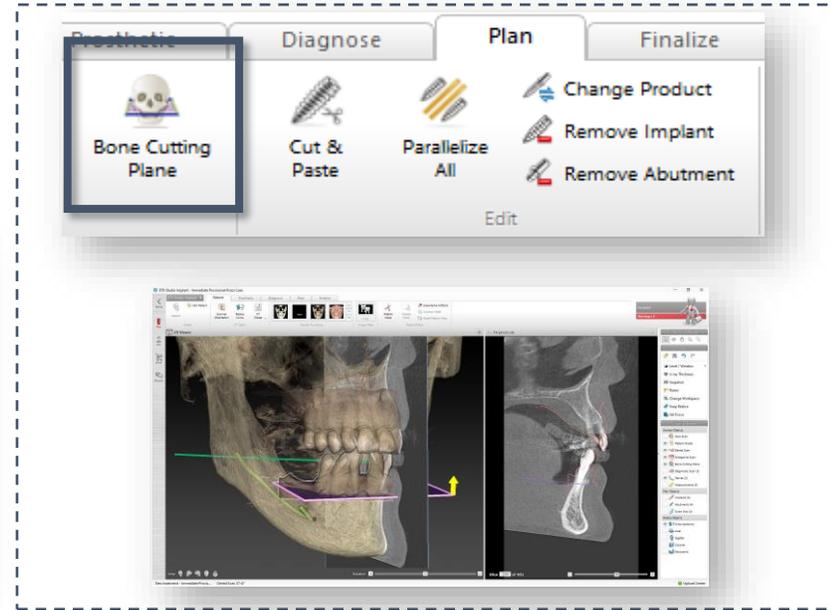
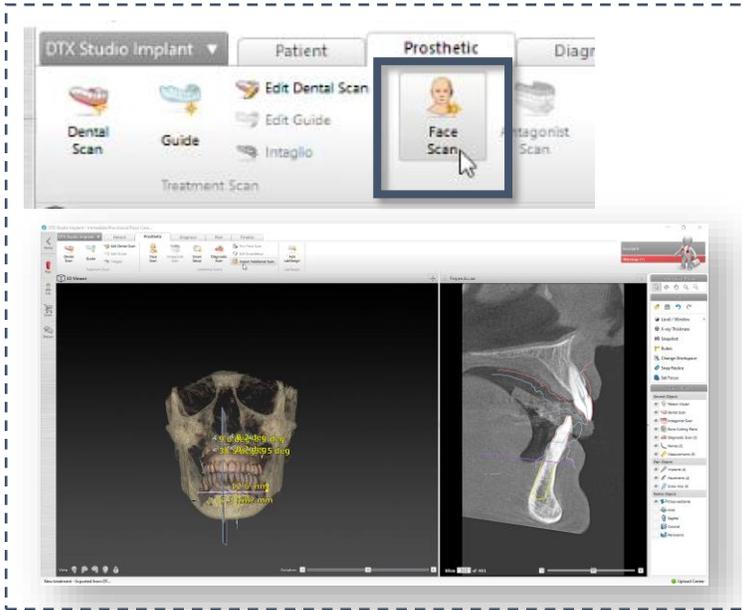
- ケースをDTXスタジオインプラントにエクスポート

*臨床医がまだDTXスタジオクリニックを持っていない場合は、ステップ2に進み、DTXスタジオインプラントでSmartFusionおよびSmartSetup /診断スキャンのインポートを実行します。



2. Treatment plan

Prosthetically driven planning



- ケースを開き、DTX Studio ClinicからSmart Fusedサーフェスと診断歯のセットアップをロードします
- 3D顔スキャンをインポートして、インポートしたサーフェスに位置合わせすることができます

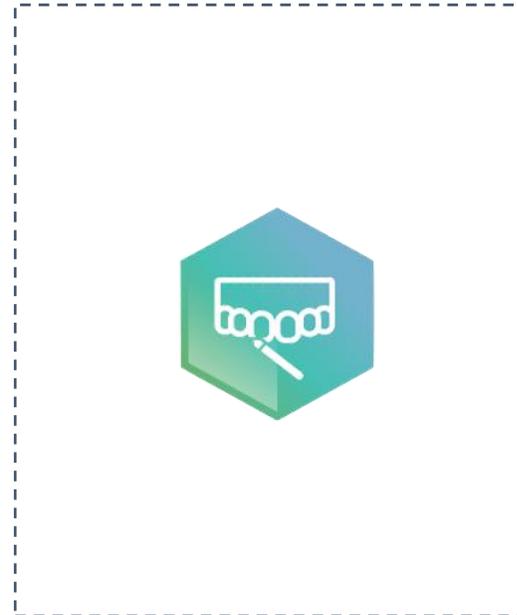
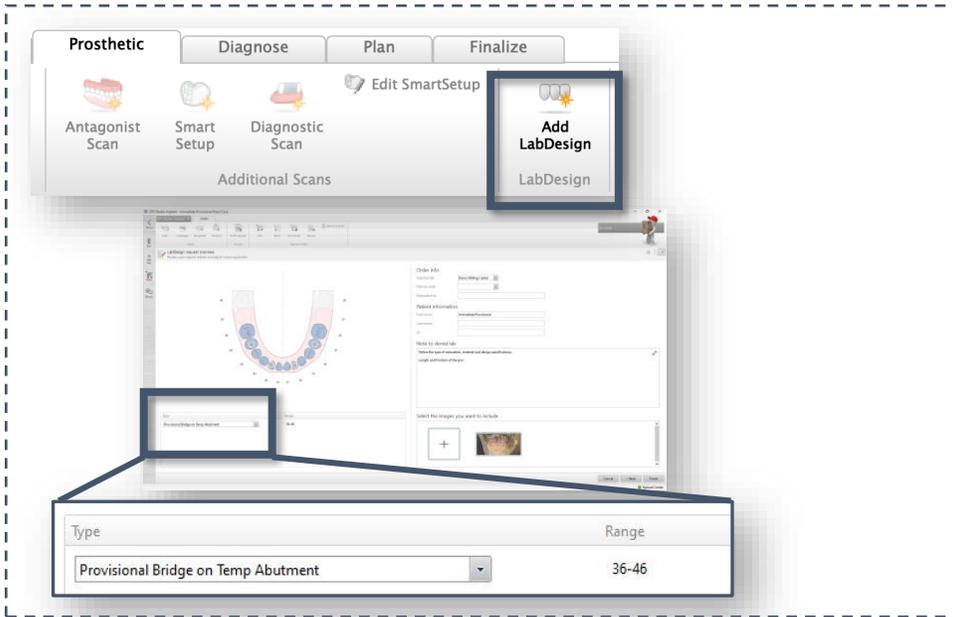
- 骨切断面を定義します

- 患者の解剖学的構造と補綴物の目標に従ってインプラントの位置を定義します



2. Treatment plan

Prosthetically driven planning



- 計画が完成したら、Lab Designリクエスト「Temp Abutmentsの暫間ブリッジ」を作成し、DTX Studio Labパートナーにケースを送信します。
- 3〜4つのStumpを配置する必要がある場所にメモ/写真を追加します。

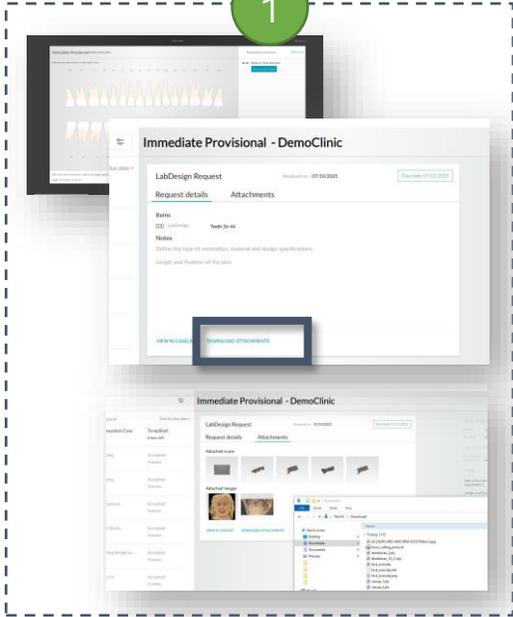
- DTX Studio Labパートナーはリクエストを受け取り、Temp Abutmentsで暫間ブリッジを設計し、完了したらケースを共有します。

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



3. Design restoration

1



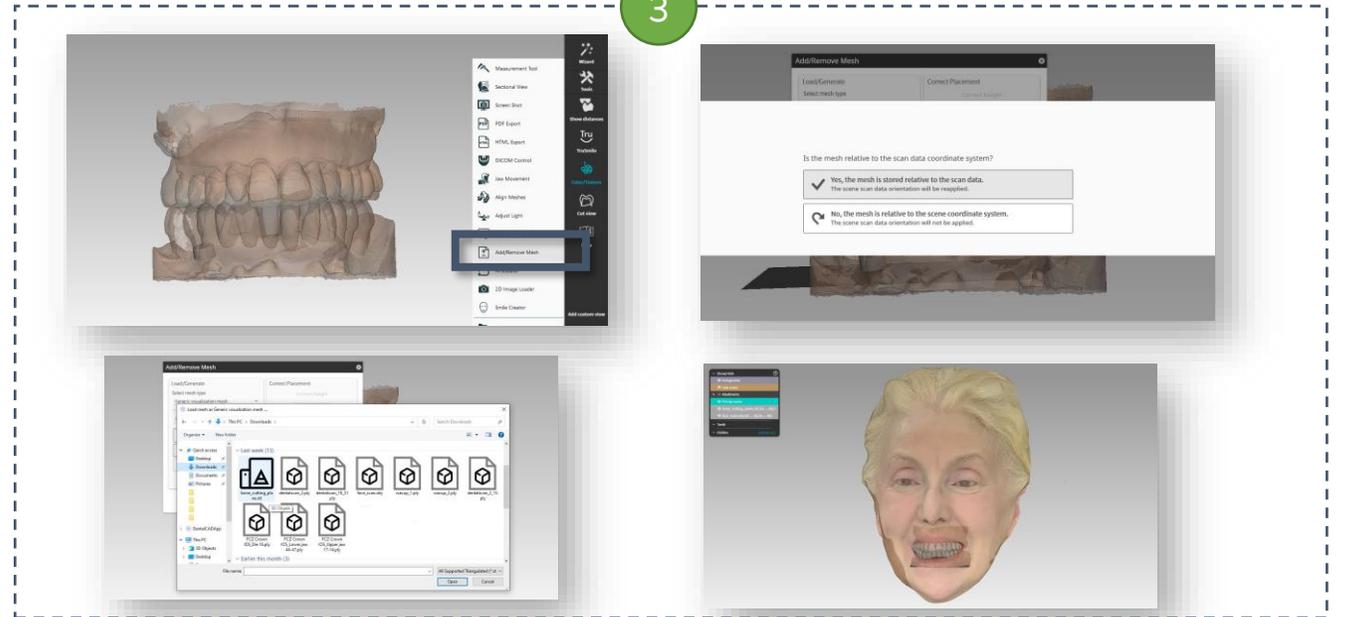
- "要請を受け入れます"
- 添付ファイルをダウンロードします。

2



- 設計を開始します。

3



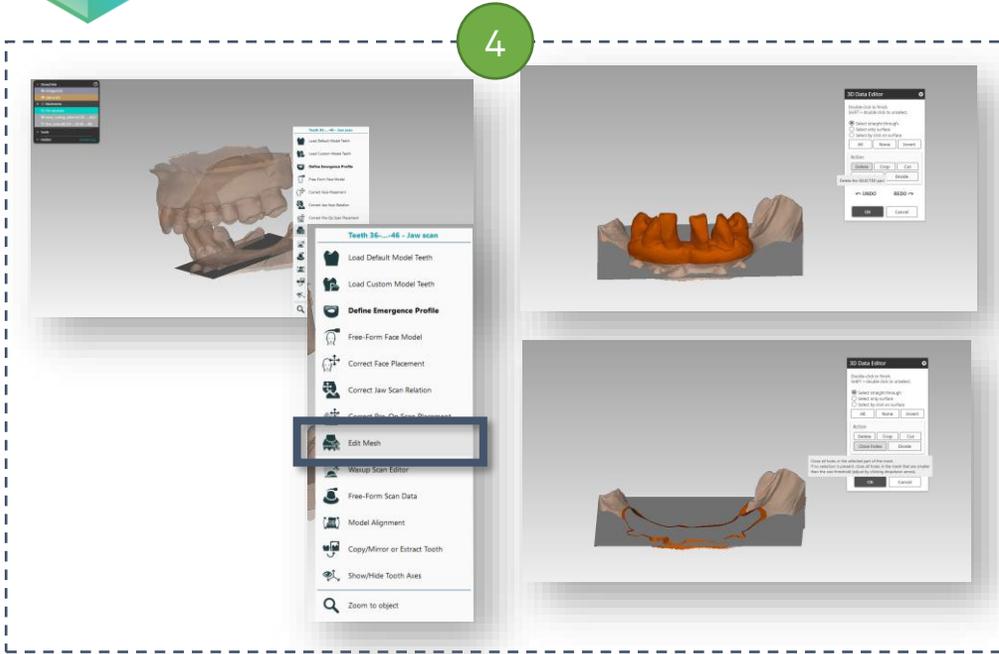
- エキスパートモードを使用する：
- 「メッシュの追加」をクリックします。
- 骨切断面をインポートします。
- 3Dフェイススキャンをインポートする。
- .STLサーフェス*に変換されている場合は、CBCTをインポートすることも可能です。

*オプション：ユーザーがX-Guideを持っている場合：ユーザーは必要に応じてCBCTをSTLに変換できますこれは、ケースをX-Guideにエクスポートし、ボーンメッシュを「マージされたアイテム」としてエクスポートすることで実行できます。エクスポートされたSTLデータは、DTX Studio Labパートナーと共有できます。



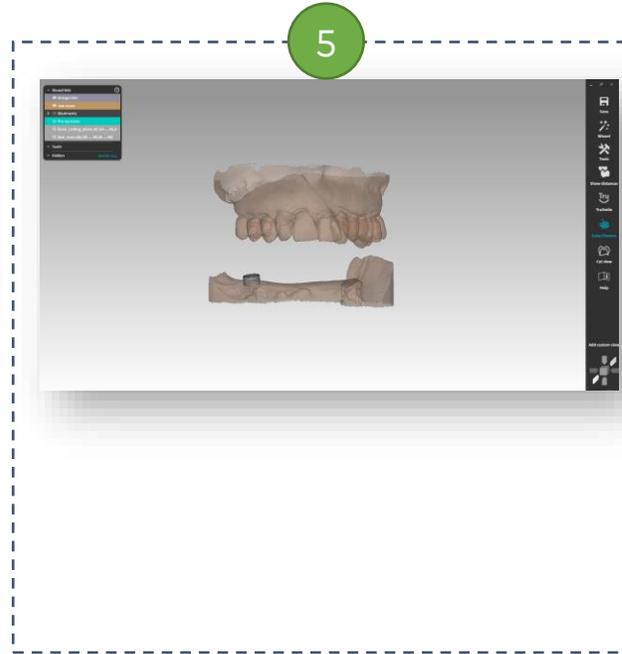
3. Design restoration

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



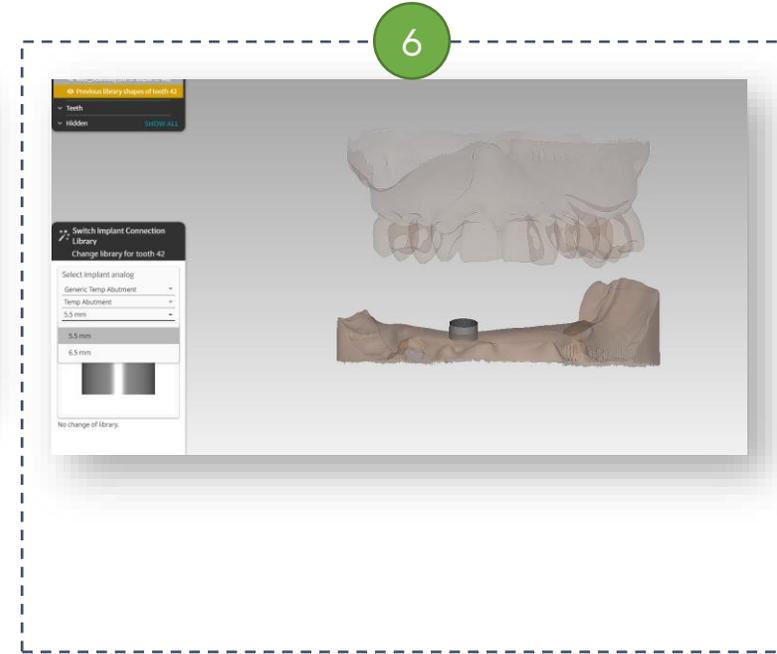
4

- メッシュを編集し、骨切断面に基づいて歯を削除します。



5

- ウィザードモードに戻り、設計を続行します



6

- テンポラリーアバットメントの穴を定義する。
・選択できる2xプリセットがあります

注：プリセット値は、テンポラリーアバットメントの直径+樹脂/光硬化材料を接着するための追加スペースです。



3. Design restoration

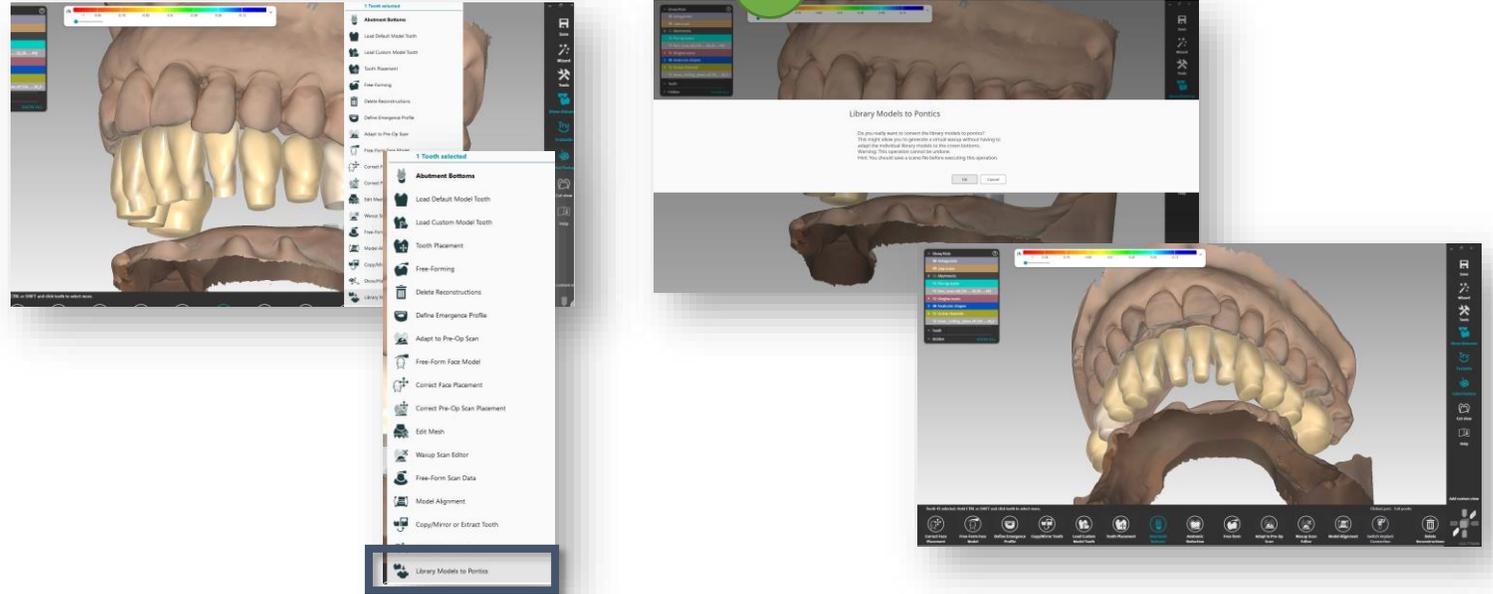
Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy

7



- 歯の配置を続行します。

8



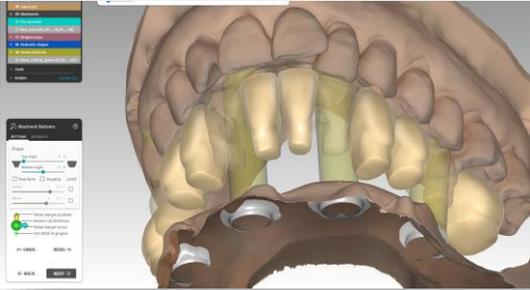
- 完了したら、エキスパートモードをクリックして、「ライブラリモデルをポンティックスに変換」します。
- 「OK」をクリックして、ウィザードモードに戻ります。

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



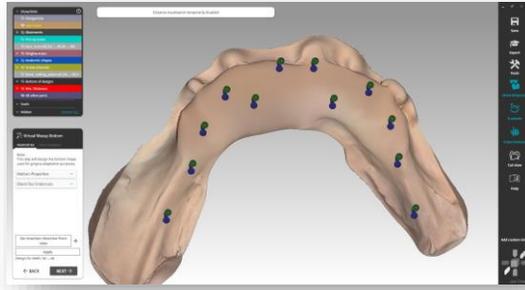
3. Design restoration

9



- アバットメントのボトムデザインを続行します。

10



- 仮想歯肉設計用の仮想ワックスアップボトムを準備します。

11



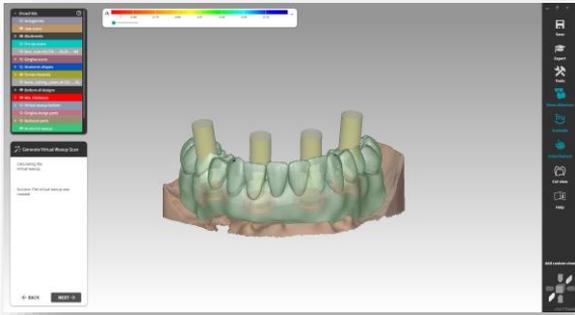
- 仮想の「Gingivaベースデザイン」を定義します。

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



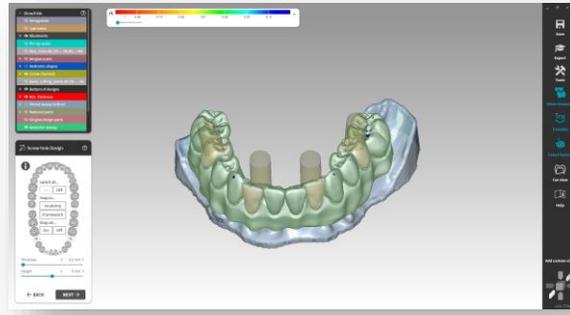
3. Design restoration

12



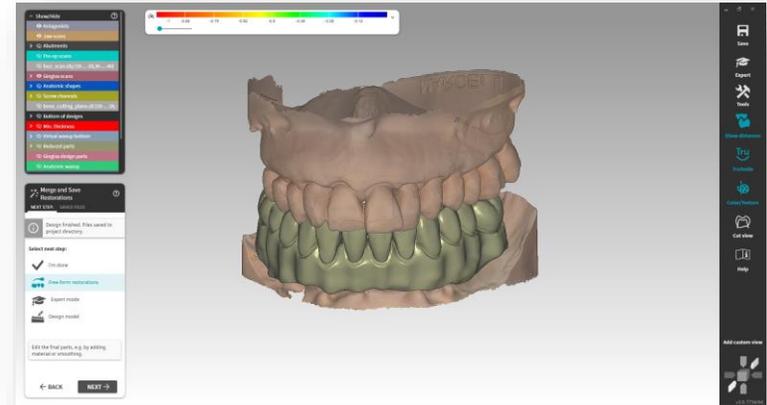
- バーチャルワックスアップを生成します。

13



- アバットメント貫通部の設計を確認します。

14



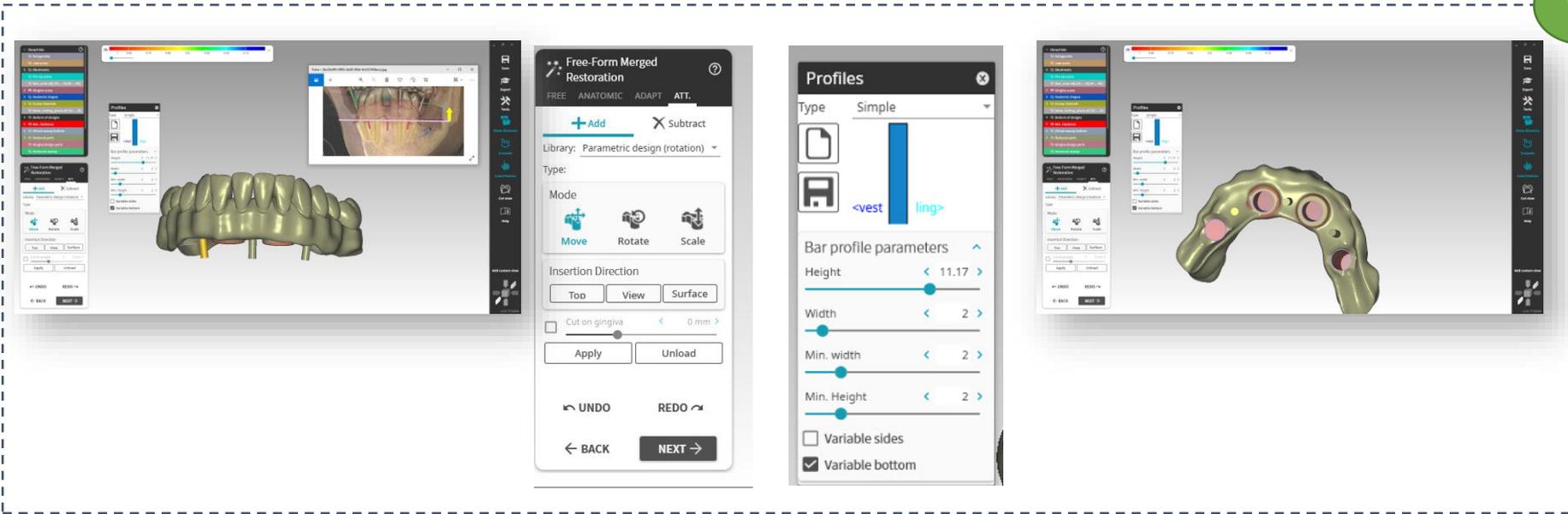
- 設計が完了したら、「自由変形」をクリックします。
- この次のステップでは、Stumpを作成する必要があります。

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



3. Design restoration

15



• ケースの保存

- 「アタッチメント」ツールを使用して、ライブラリ「パラメトリックデザイン回転」を選択します。
- Stumpのサイズ、臨床医の要求に基づいたプロフィールパラメータを定義します。
- 次の手順に従ってStumpを配置します。
 - 臨床医からのコメント
 - 骨切断面
 - 修復物の下面（凹版表面）。

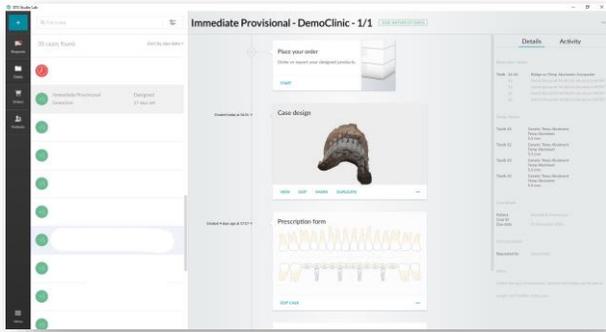
• 設計の完了

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



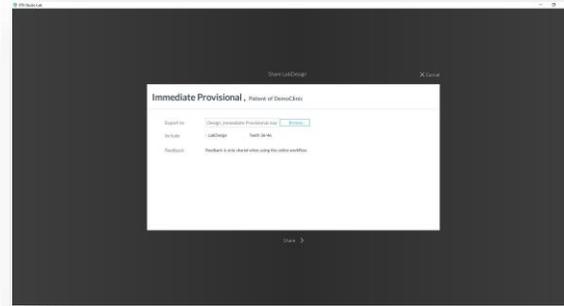
3. Design restoration

16



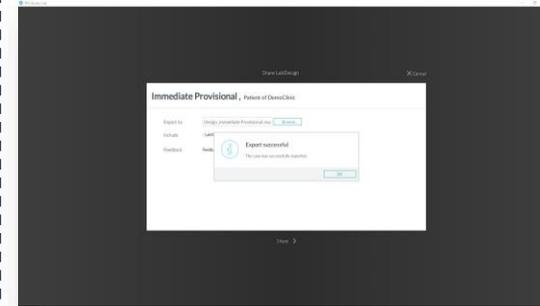
- 「注文する」を選択します。

17



- DTX Studioインプラントパートナー（リクエスター）とデザインを共有します。

18



- ローカルプロダクション用のファイルをエクスポートします。

4. Produce restoration

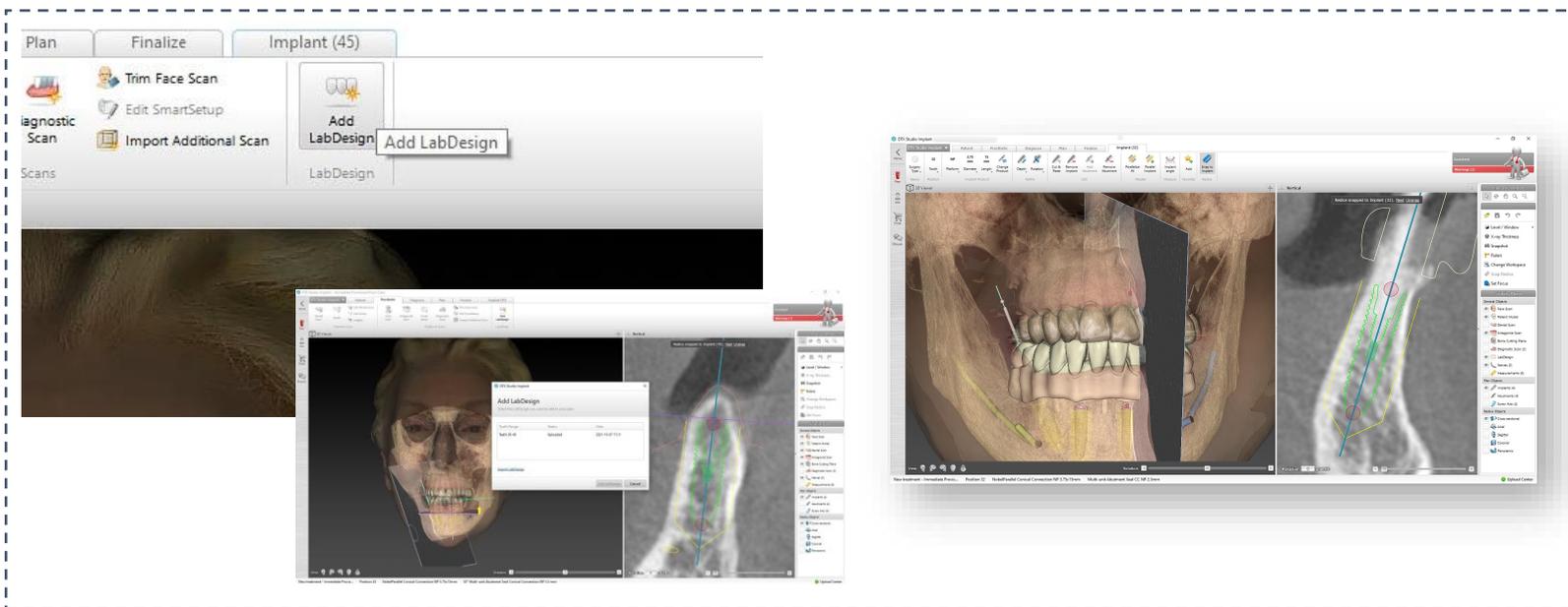


- ミリングまたはプリンティング：
• テンポラリーアバットメント用の暫間ブリッジを作成し、完成したら臨床医に納品します。



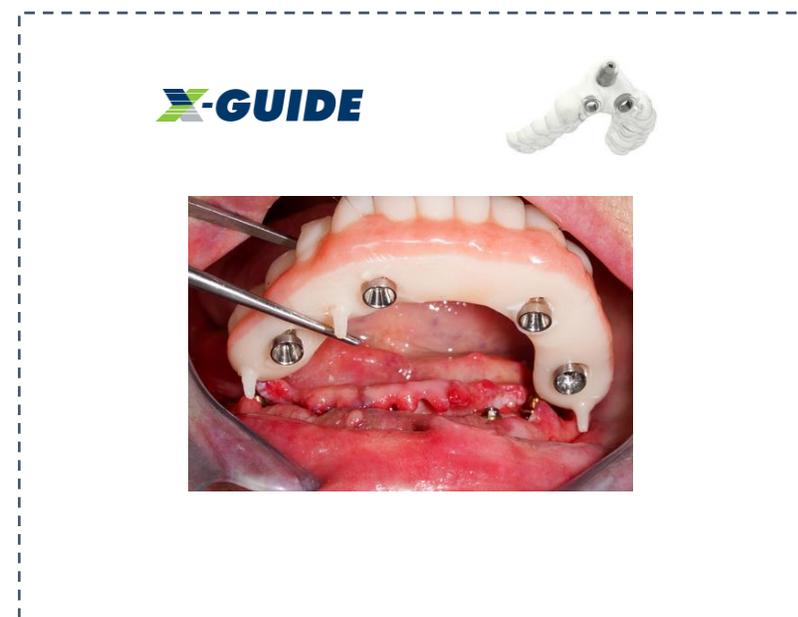
5. Treatment plan

Prosthetically driven planning



- DTX Studioインプラントを起動し、「LabDesignを追加」を選択します。
- イミディエイトプロビジョナルのデザインをレビューします。

6. Surgery



- 計画を受け入れ、外科手術に進みます。
- ナビゲート手術 (X-Guide)への計画のエクスポートまたは
- 手術用テンプレートを生成します。

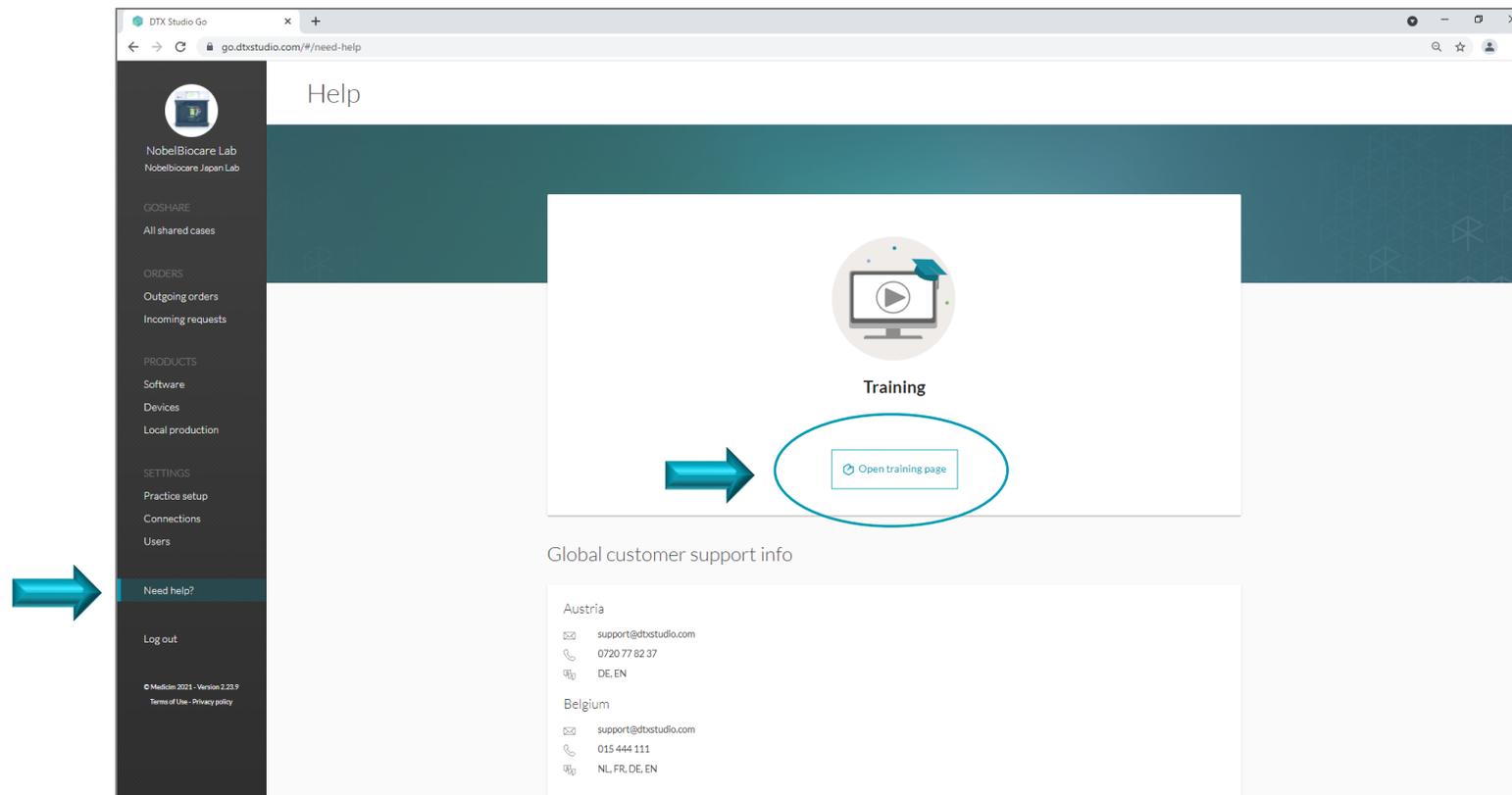
DTX Studio™ Go
Training Video



DTX Studio™ Go
<https://go.dtxstudio.com/> へアクセス

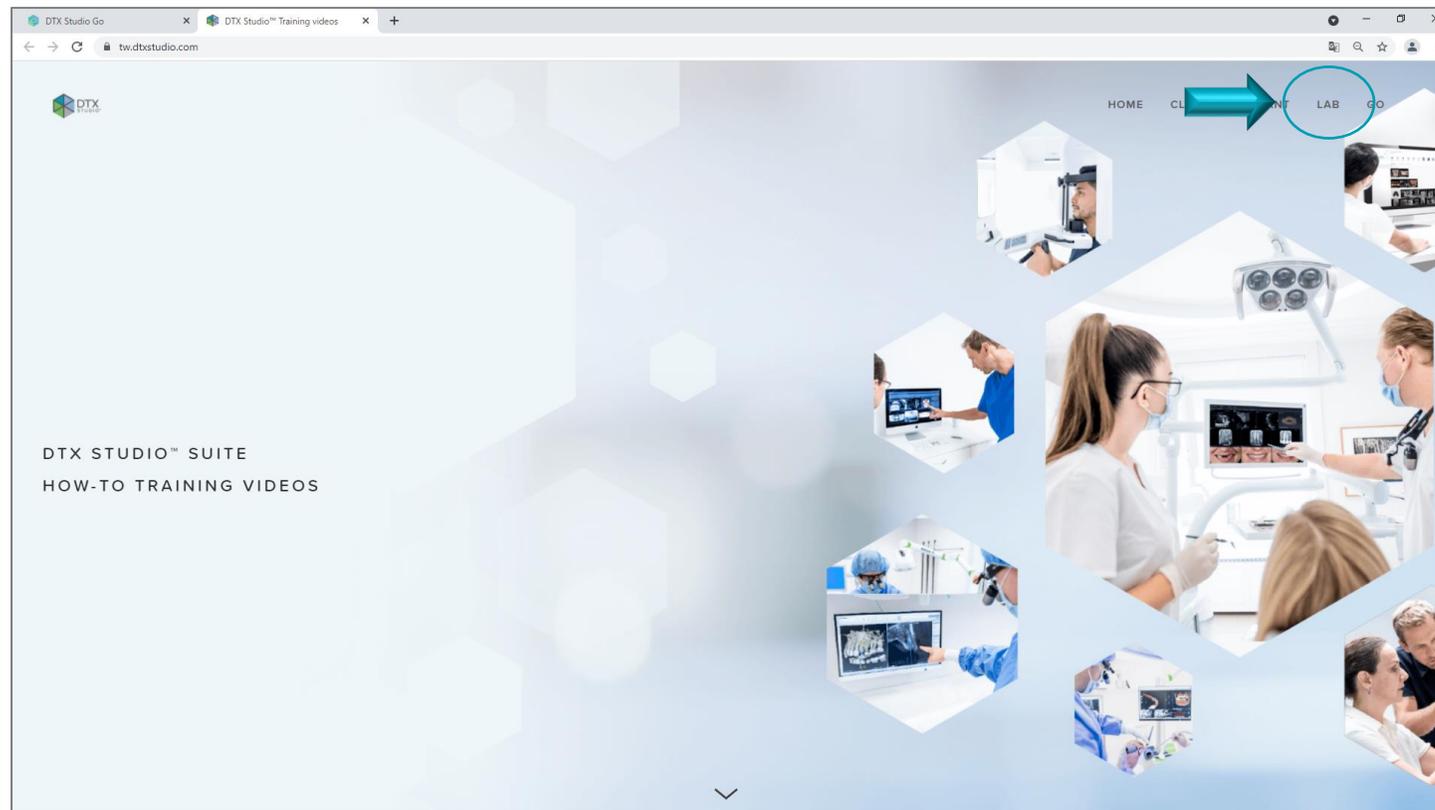
メニューバーから
『Need help?』を開きます。

『Open training page』をクリックします



DTX Studio™ Go
Training ページから

【Lab】 をクリックします



DTX Studio™ Go
Lab ページ下部の【スクロール】をクリックし、
対象のタイトルを選択します

Connectivity

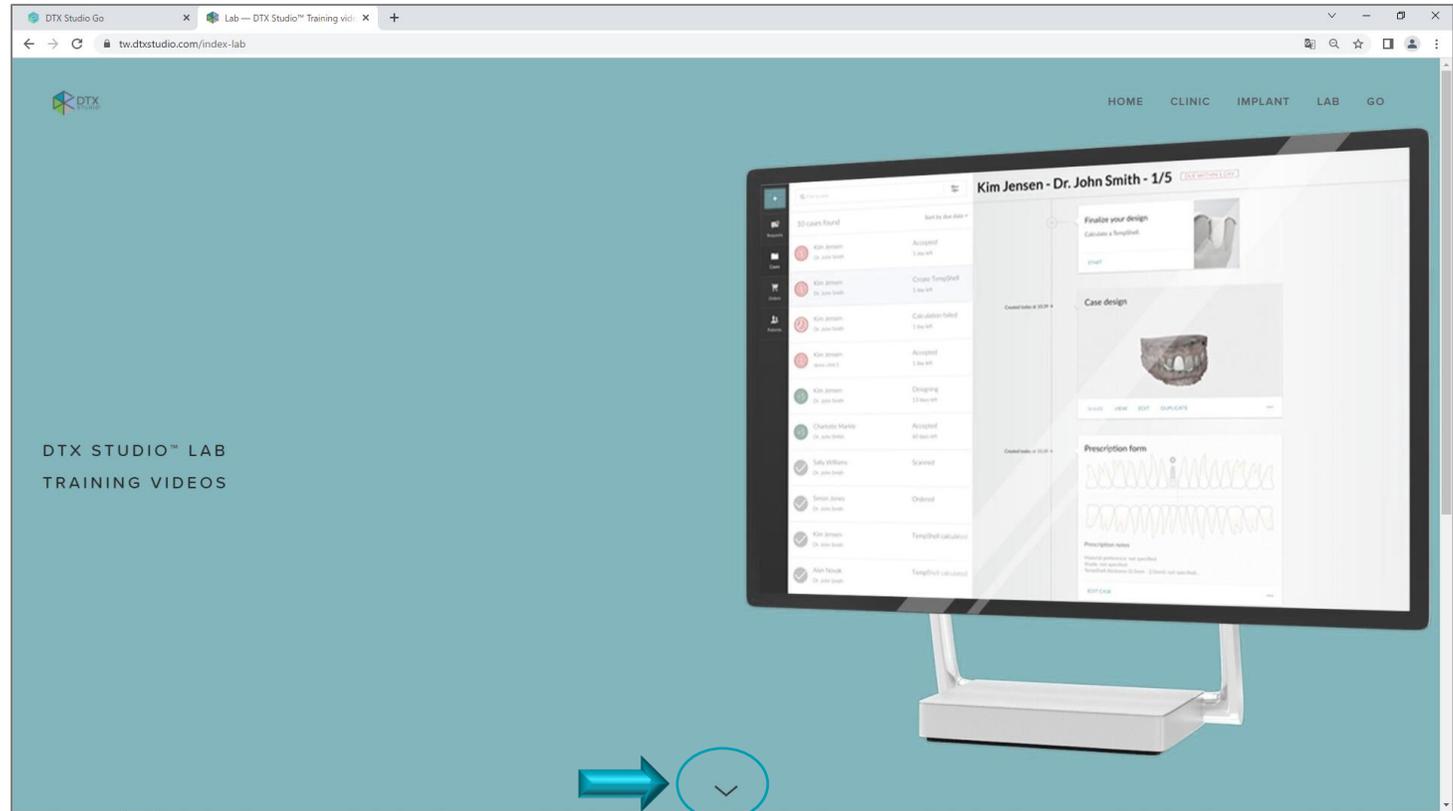
Case Set-Up

Scanning

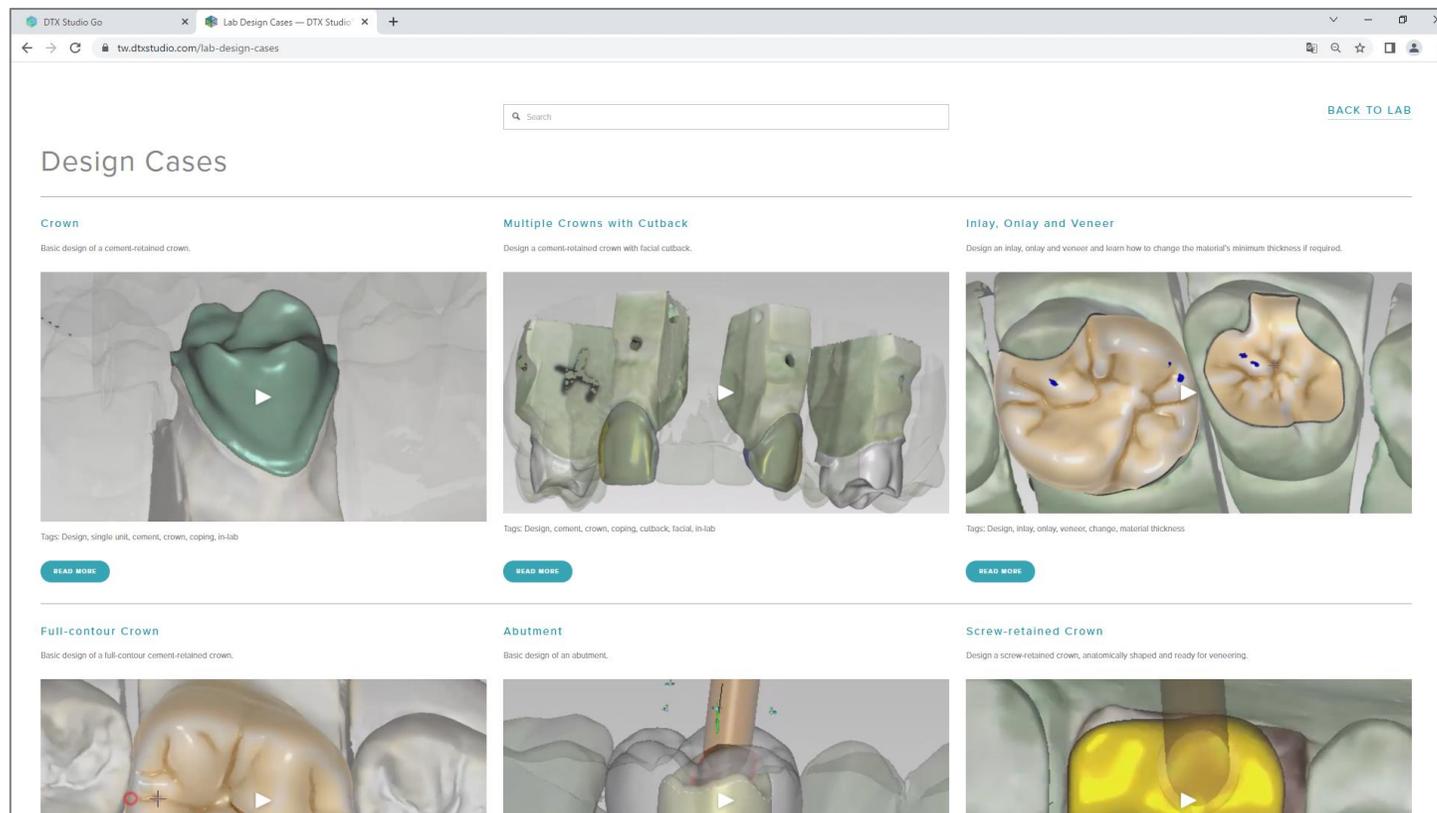
Designing

Software Tools & Workflows

Bar Module



Videoをクリックすると、
トレーニングビデオが再生されます





Nobel Biocare DTX Studio Lab [Version 1.12](#) Launch information